

夏どりにらの抽だい制御による栽培法

1. 試験のねらい

夏どりにらは、冬春どりにら収穫後の2年株を利用しているため、抽だいの影響をうけ、生産が不安定となっている。とくに7~8月どりにらは抽だい期にあたるため、収量・品質の低下が著しい。さらにこの時期は、抽だい花茎の除去等の調整作業に多くの労力を費やしており、この回避対策も望まれている。そこで、抽だい制御法を確立するため、保温時期と昼温及び夜温が抽だいに及ぼす影響について検討した。

2. 試験方法

品種は、グリーンベルトときぬみどりを用いて試験を行った。保温は、定植と同時に行い、すて刈り後3回収穫を行った。保温開始時期（9月20日、10月20日、11月20日、12月20日）、昼温管理（25、30、35℃）及び夜温管理（0、5、10℃）が抽だい期・抽だい花茎数等に及ぼす影響と、保温時期（9月20日、10月20日、11月20日、12月20日）とすて刈り時期（9月20日、10月20日、11月20日、12月20日）が夏どりに（5月31日にすて刈り後、3回収穫を行った）及び冬どりにらの収量・品質に及ぼす影響を検討した。

3. 試験結果及び考察

(1) 保温を10月20日までにを行うことにより、抽だい期は20日前後遅くなり、抽だい株率及び花茎発生率が減少した（慣行の保温時期と考えられる12月20日保温との比較）。

品種での抽だい株率及び花茎発生率については、きぬみどりの抽だい期がやや早く、花茎数及び花茎発生率は低く、早い保温時期ほど少ない傾向をした（表-1、2）。

(2) 昼温を35℃の高めに管理することにより、抽だい期は10日前後遅くなり、花茎数及び花茎発生率が減少した（表-1）。

(3) 夜温を5~10℃の高めに管理することにより、抽だい期は5日前後遅くなり、抽だい株率及び花茎数が減少した（表-2）。

(4) 留意点としては、早期保温では土壤水分が不足するので、定期的なかん水を行う（きぬみどりは不用）。冬春どりにら収穫後は、5月中旬まで保温管理と株養成管理が必要で、4月上旬に3要素当たり各2kg/aの追肥を行う。また、保温性の高い資材を利用することにより、夜温の確保につとめる。

4. 成果の要約

夏どりにらの抽だいを制御するには、10月下旬から保温開始し、昼温35℃・夜温5~10℃と高めに管理する。12月下旬にすて刈りを行い、冬どりにらを収穫（3回収穫する）することにより、慣行の栽培法（保温と同時にすて刈り・収穫）より多収となった（図-1）。また、夏どりにでは、8月中旬まで抽だい花茎の発生もなく、夏どりにらの生産安定と品質向上及び抽だい花茎除去等の調整労力の省力化に大きく寄与できる。

（担当者 野菜部 手塚 弘恵）

表-1 保温時期と昼温管理が抽だい期、抽だい株率、花茎発生率に及ぼす影響

処 理		抽 だ い 期			抽だい株率 %			花茎発生率 %		
品種	保温開始時期	35℃	30℃	25℃	35℃	30℃	25℃	35℃	30℃	25℃
きぬみどり	9/20	8/30	8/21	8/10	70	85	95	15	15	31
	10/20	8/21	8/21	8/10	88	94	100	24	18	39
	11/20	8/21	8/21	7/25	100	100	100	32	25	35
	12/20	7/25	7/25	7/21	100	100	100	37	31	44
グリーンベルト	9/20	8/30	8/30	8/25	90	99	100	11	31	36
	10/20	8/25	8/25	8/25	92	100	100	30	38	39
	11/20	8/21	8/25	8/21	100	100	100	49	44	59
	12/20	8/15	8/15	8/15	100	100	100	85	77	83

1) 夜温は5℃一定とした。 2) 抽だい期は、50%の株が抽だいた時期

表-2 保温時期と夜温管理が抽だい期、抽だい株率、花茎発生率に及ぼす影響

処 理		抽 だ い 期			抽だい株率 %			花茎発生率 %		
品種	保温開始時期	10℃	5℃	0℃	10℃	5℃	0℃	10℃	5℃	0℃
きぬみどり	9/20	8/30	8/21	8/10	47	90	93	8	25	19
	10/20	8/21	8/21	8/10	68	93	95	5	22	21
	11/20	8/21	8/21	7/25	82	100	100	14	24	27
	12/20	7/25	7/25	7/21	100	100	100	26	42	33
グリーンベルト	9/20	8/30	8/30	8/25	70	83	94	14	25	23
	10/20	8/25	8/25	8/25	81	100	100	19	38	38
	11/20	8/21	8/25	8/21	86	100	100	20	49	38
	12/20	8/15	8/15	8/15	100	100	100	65	80	80

1) 昼温は30℃一定とした。 2) 抽だい期は、50%の株が抽だいた時期

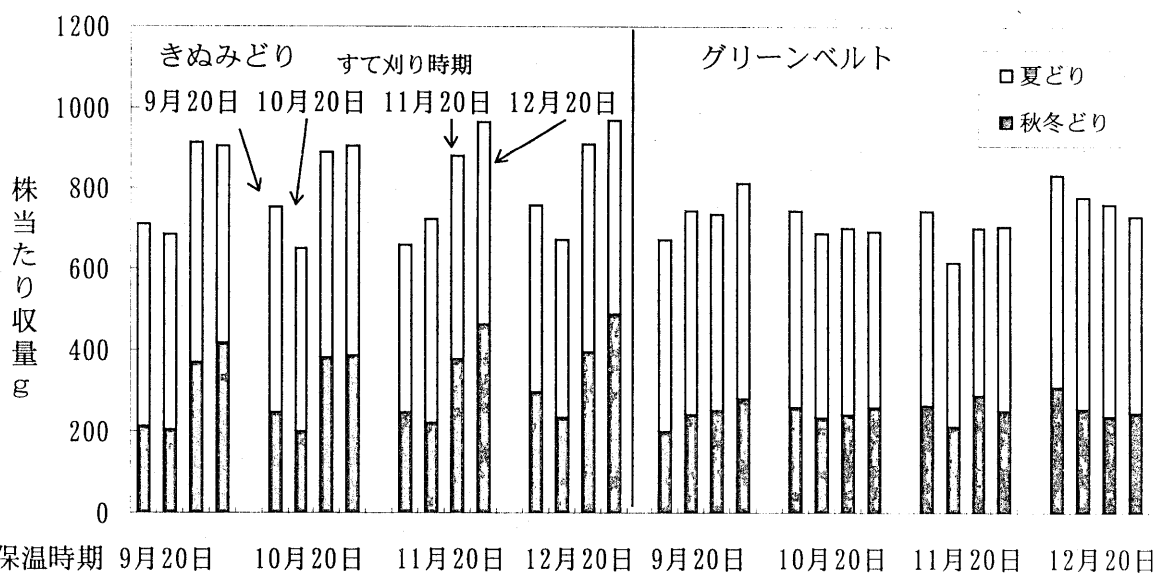


図-1 保温時期とすて刈り時期が秋冬どり及び夏どりにらの収量・品質に及ぼす影響 (g/株)